

国指定等文化財関係の被害状況 (11月1日19時00分時点)

- 台風15号による文化財被害件数
合計：122件
- 台風19号による文化財被害件数
合計：224件

神野寺表門（重要文化財）



表門の倒壊

加曾利貝塚（特別史跡）



倒木による遺構毀損

文化庁の対応

<人的支援>

- 文化財の被害状況の確認及び今後の対応を協議するため、文化財調査官を順次派遣（10月21日現在2名）し、復旧事業の着工に向けた調整を行うとともに、必要に応じて文化財の災害復旧に係る補助金の交付決定前着工手続の内容について確認
- 川崎市市民ミュージアムの所蔵品の救出等に対応するため、文化財等災害対策委員会を開催し独立行政法人国立文化財機構へ技術的支援の協力を要請（10月24日）

<財政支援>

- 文化財の災害復旧に係る補助金の交付決定前着工手続等に関する事務の取扱いについて各都道府県文化財保護行政主管課宛てに事務連絡を発出（10月16日）

これらのほか、被災地からの相談に対して助言等

台風15及び19号により被災した文化財の復旧について

今後の対応

- 引き続き、被災地の文化財の被害状況を確認し、応急対応の指導・助言や復旧についてのニーズを把握するほか、必要に応じて文化財調査官を現地に派遣し、文化財の災害復旧が迅速に進むよう支援

災害復旧事業の補助率

国指定等文化財の災害復旧事業については、通常の国庫補助事業の補助率に20%を加算
(国庫補助額の上限は85%)

(例) 重要文化財(建造物)の場合

